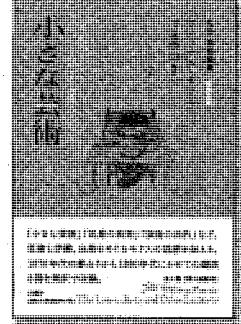


デザインに秘められている思想

んでゆくことを構想した。



ゆえに、すでに邦訳がある

『社会主義』(晶文社、二〇一四年)のタイトルが示す如く、

モリスの芸術とは抽象的な

「美」にとどまるものではない。

W・モリスの名は、一九世紀イギリスの「アーツ・アンド・クラフツ運動」と結びついている。

一八世紀末に始まつた産業革命は、英國の風景を激変させた。

都市を中心として生態系は破壊され、生活空間も規格化された大量生産物で埋め尽くされた。

この状況に対しモリスは、

利己主義と奢侈の対極にある平等と友愛の思想を、彼のデザインは満ちている。(Y)

職人の手仕事を念頭に置きつつ、生活の中に芸術を組み込

『小さな芸術 社会・芸術論集I』
ウイリアム・モリス著、川端康雄編訳、
月曜社、二〇二二年一月、三〇八〇円
(税込)